



# 第114回有機合成シンポジウム2018年【秋】 講演要旨集

## 【 広告ご掲載のご案内 】

平成30年8月

東京都千代田区神田駿河台1-5  
公益社団法人 有機合成化学協会  
(公印省略)

拝啓 貴社ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の事業に際しまして、多大のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、本会では毎年2回有機合成シンポジウムを開催して参っており、今年も来たる平成30年11月6日(火)～7日(水)の2日間・早稲田大学国際会議場において開催いたすべく、目下準備を進めております。

つきましては、本シンポジウムにて発行いたします講演要旨集において貴社の製品広告ならびにイメージ広告の掲載をお願い申し上げたく、ここにご案内を申し上げます。

また、本広告にお申し込み頂きました企業のうち、ご希望のところにはシンポジウム当日会場にて、カタログ・書籍展示(参加無料、但しコマ数限定先着順[6コマ程度]、電気の使用はできません/インターネットの回線はありません)も併せて行うことができます。別紙広告掲載申込書にてお申し込み下さい。

ご出費ご多端の折にて誠に恐縮とは存じますが、是非ともこの機会に広告のお申込みを賜りますようひとえにお願い申し上げます。

尚、広告取扱いは、広告代理店(株)明報社に委託しております。同社より広告に関するお願い、ご連絡を申し上げますので、何卒ご高配のほどお願い申し上げます。

書中にて失礼ながらご依頼まで申し上げます。

敬具

なお、展示のご案内につきましては、お申込み頂きました後に本会よりご案内をお送りいたしますので、予めお含みおき下さい。

[シンポジウム開催概要]

日時:平成30年11月6日(火)～7日(水)

会場:早稲田大学国際会議場

[東京都新宿区西早稲田1-20-14]

参加予定者 250名

◆ 掲 載 要 項 ◆

募 集 媒 体 第114回有機合成シンポジウム2018年【秋】講演要旨集

発 行 予 定 日 10月25日(木)

発 行 部 数 350部 (参加者全員配付)

サ イ ズ B5判 (約100頁)

頁	広告原稿寸法 等		掲載料金(消費税別)	入稿形態
表 2	1P	天地220mm×左右150mm	¥80,000	完全データ (グレースケール) 出力見本をご添付下さい
表 3	1P		¥70,000	
表 4	1P		¥90,000	
後 付	1P		¥60,000	
後 付	1/2P	天地105mm×左右150mm	¥30,000	
綴 込	1枚	四六版 90kg/連	¥90,000	印刷完成品持ち込み

※原稿データ製作費は、実費をご請求させていただきます。

申 込 締 切 9月25日(火)

原 稿 締 切 10月4日(木)

広告掲載のお問い合わせ・お申込み

**MEIHOSHA**  
ADVERTISING AGENCY

**株式会社 明 報 社**

〒104-0061 東京都中央区銀座七丁目12-4 友野本社ビル  
TEL(03)3546-1337 FAX(03)3546-6306  
E-mail info@meihosha.co.jp  
ホームページ www.meihosha.co.jp

**「第114回有機合成シンポジウム2018年【秋】講演要旨集」・申込書**

(株)明報社 御中

下記の通り、広告掲載を申込みいたします。

お申込日	2018年 月 日		
貴社名			
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL:( ) - /FAX:( ) -		
部署名		ご担当者氏名	印
E-mail			

申込み頁数 (○をお付けください)		表紙:表2 表3 表4	掲載料金	円(税別)
		後付1色1頁	掲載料金	円(税別)
		後付1色1/2頁	掲載料金	円(税別)
		綴り込( 枚)	掲載料金	円(税別)

■シンポジウム当日のカタログ・書籍展示について下記に○をご記入下さい。

- \* 参加無料、但し展示は、机1本分のスペースとさせていただきます。
- \* コマ数は先着順:6コマ程度
- \* 電気の使用はできません。又、インターネットの回線はありません。

カタログ・書籍展示を

- 希望する
- 展示を希望しない

お申し込みは、上記にご記入のうえ、FAXにてお申し込み下さい。

# 第114回有機合成シンポジウム

主催 有機合成化学協会

共催 日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会

後援 早稲田大学理工学術院総合研究所

日時：平成30年11月6日(火)～7日(水)

場所：早稲田大学国際会議場 [〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-20-14]

交通：東京メトロ東西線「早稲田駅」下車、徒歩10分

研究発表形式：①ポスターのみ [ショートオーラル2分] / ②オーラル&ポスター [オーラル15分]

発表件数：受賞講演 3件、Oral&Poster 40件(O-1～O-40)、Poster 12件(P-1～P-12)]

## 第1日目

[11月6日・火]

☆開会挨拶 09:25～09:30 林亮司 (東レ)

[座長：今井貴弘(Meiji Seikaファルマ)]

### セッション①

O-01. 09:30～09:45

分子内連続ラジカル反応を用いた  
トウセンダニンの合成研究

(東大院薬) ○武藤大之、萩原浩一、井上将行

O-02. 09:45～10:00

バクリタキセルの第2世代合成

(慶大理工) ○望月翔太、深谷圭介、山口友、渡辺愛海、山本拓央、  
齋尾諒佑、佐藤隆章、千田憲孝

O-03. 10:00～10:15

立体選択的に進行するビピレノールの多量化反応、  
および光学活性ビレン多量体のキロプティカル特性  
(首都大院理、近畿大院理工) シューバス・ラズボングシー、  
今井喜胤、○杉浦健一

O-04. 10:15～10:30

ベンゾ [b] チオフェン環の迅速構築のための  
アルキニルスルフィドによるアラインの新規変換の開発  
(東京医歯大生材研) ○松澤翼、内田圭祐、吉田優、細谷孝充

\*\* 休憩(5分) \*\*

[座長：犀川陽子(慶大理工)]

### セッション②

O-05. 10:35～10:50

遷移金属の特性を活かした3, 4位縮環インドール誘導体の  
合成及び反応機構の解明  
(千葉大院薬、千葉大薬、理研) ○中島誠也、栗原崇人、鈴木雄太、  
根本哲宏

O-06. 10:50～11:05

レゾルピンD1及びD4の合成研究  
(東工大生命理工) ○森田将夫、吳尚沢、難波裕太郎、  
小林雄一

O-07. 11:05～11:20

酵素触媒反応を基盤とするジベンゾシクロオクタジエン型  
リグナンの立体選択的合成法  
(東京薬大薬) ○山口悟、竹林正悟、高杉明德、井上亜沙美、  
坂本佳代、矢内光、松本隆司

O-08. 11:20～11:35

新規不斉有機超強塩基触媒の設計開発  
(東北大院理) ○近藤祥、大石将文、手塚光、寺田真浩

\*\* 昼食(70分) \*\*

[座長：大谷鷹士(三菱ケミカル)]

### セッション③

O-09. 12:45～13:00

アシスト型タンデム触媒機構を利用した  
アジリジンを経るオレフィンの二重官能基化  
(東北大院薬) ○河内大知、植田浩史、徳山英利

O-10. 13:00～13:15

カルボン酸等価体の触媒的酸化的  $\alpha$ -ベンジル化反応  
(九大院薬) ○田中津久志、橋口佳代子、田中尊書、矢崎亮、  
大嶋孝志

O-11. 13:15～13:30

アリールスルフィドの炭素-硫黄結合の  
切断を経るチオフェン誘導体の触媒的合成反応  
(阪大院工) ○樹谷佳弘、川島裕貴、藤本隼斗、茶谷直人、  
鷹巣守

O-12. 13:30～13:45

イノラートを用いたシリルトリプチセンの合成と反応  
(九大先導研、九大院総合理工) ○吉永達郎、藤原匠、岩田隆幸、  
新藤充

\*\* 休憩(5分) \*\*

[座長：松本隆司(東京薬大薬)]

### セッション④

O-13. 13:50～14:05

二酸化炭素のメカノケミカルの完全分解法  
(岐阜薬大、キヤノン) ○澤間善成、新川美紀、阪一穂、朴貴煥、  
伊東美紀、佐治木弘尚

- - 14. 14:05 ~ 14:20  
ドミノエンインメタセシス反応による架橋構造構築を  
鍵とした Lyconesidine 類の全合成研究  
(京大院薬) ○黒瀬朋浩、塚野千尋、竹本佳司
- - 15. 14:20 ~ 14:35  
マンガ (II) 錯体を触媒とするアミド化合物の  
エステル化反応  
(阪大院基礎工) ○平井崇裕、加藤大樹、相馬秀成、明比慎也、  
長江春樹、真島和志
- - 16. 14:35 ~ 14:50  
細胞内において標的タンパク質を選択的に修飾する  
化学触媒の開発  
(東大院薬) ○濱島航、藤村亜紀子、藤原侑亮、川島茂裕、  
山次健三、金井求

\*\* 休憩(15分) \*\*

[座長: 田中陽一(三井化学)]

セッション⑤

- - 17. 15:05 ~ 15:20  
抗生物質ピネオマイシン<sub>A1</sub>の全合成および  
構造活性相関研究  
(慶大理工) ○松本優香、船越桃子、菅野優子、栗木甫、小林巧、  
高橋大介、戸嶋一敦
- - 18. 15:20 ~ 15:35  
アブシシン酸アンタゴニスト RK460 を基盤とする  
構造活性相関研究  
(理研 CPR、東農工大院工、理研 CSRS、理研 CEMS、九大院薬、  
AMED-CREST) ○三瓶悠、由田和津子、橋爪大輔、  
平井剛、長澤和夫、長田裕之、袖岡幹子
- - 19. 15:35 ~ 15:50  
炭素-窒素軸不斉キナゾリノンエノラートの構造と  
ジアステレオ選択的  $\alpha$ -アルキル化反応  
(芝浦工大工) ○松岡瑞輝、飯田明日美、菊池裕貴、北川理
- - 20. 15:50 ~ 16:05  
ラジカル連鎖機構による含ヘテロ原子脂肪族の  
直接  $\alpha$ -アリール化反応  
(関西学院大理工) ○池田佑子、松川裕子、青木航平、吉形優樹、  
白川英二

\*\* 休憩(5分) \*\*

[座長: 千葉博之(エーザイ)]

セッション⑥

- - 21. 16:10 ~ 16:25  
累積二重連結型フラバンオリゴマーの合成研究  
(東工大理) ○武田梨花子、野口柚華、鈴木啓介、大森建
- - 22. 16:25 ~ 16:40  
(+)- Isolaurenidificin の全合成 -天然物の絶対配置推定-  
(阪工大院工) ○米山亮、益山新樹、小林正治
- - 23. 16:40 ~ 16:55  
共役ジニルアミド誘導体の Aza-Prins 環化反応  
(東農工大院工) ○小林菜穂子、齊藤亜紀夫
- - 24. 16:55 ~ 17:10  
N-Ac 環状カルバマート有する糖供与体を用いる  $\alpha$  (2,9)  
オリゴシアル酸の合成研究  
(東工大物質理工、名大生物機能セ) ○清水速人、安田優、  
佐藤ちひろ、北島健、田中浩士

\*\* 休憩(15分) \*\*

[座長: 山口潤一郎(早大先進理工)]

セッション⑦

- - 25. 17:25 ~ 17:40  
還元的錯形成による新規官能基化インデニルロジウム (III)  
錯体の合成と C-H 官能基化反応への応用  
(東工大物質理工) ○寺澤純一、柴田祐、田中健
- - 26. 17:40 ~ 17:55  
新規ジアミノアルコール有機分子触媒的不斉アルドール反応  
を用いる光学活性 Tryptanthrin 類の全合成  
(室蘭工大院工、金沢大院自然科学、東北医薬大、東北大院理  
巨大研セ、ときわ会) ○関健斗、U. V. Subba Reddy、山田圭悟、  
古山溪行、奥山祐子、権根相、関千草、上井幸司、常盤峻土、  
竹下光弘、中野博人
- - 27. 17:55 ~ 18:10  
イソベンゾフランの逐次活性化を利用した  
巨大平面パイ共役系分子の合成  
(関西学院大院理工) ○足立和彦、木全吉光、戸沢仁志、  
羽村季之
- - 28. 18:10 ~ 18:25  
Direct Catalytic Asymmetric Mannich and Aldol  
Reaction of  $\alpha$ -Hydroxy Amide  
(微化研) ○Roman Pluta、Bo Sun、熊谷直哉、柴崎正勝

ミキサー

[於: 同所3F会議室] 18:35 ~ 19:50

第2日目

[11月7日・水]

[座長: 庄司満(横浜薬大薬)]

セッション⑧

- - 29. 09:30 ~ 09:45  
ルイス酸触媒を用いるベンジルアルコールの  
脱水カップリングを基軸とする変換反応の開発  
(乙卯研) ○崔允寛
- - 30. 09:45 ~ 10:00  
cotylenin A の不斉全合成  
(早大先進理工) ○上森理弘、長田龍之助、杉山亮司、  
足立まりあ、中田雅久
- - 31. 10:00 ~ 10:15  
ジフルオロアレンの付加環化による  
フッ素置換ヘテロ五員環化合物の合成  
(筑波大数理) ○洲辺耕平、須藤恭介、佐近和樹、市川淳士
- - 32. 10:15 ~ 10:30  
アリルベンゼン誘導体の炭素-炭素結合切断を経る  
触媒的直接アルケニル化反応  
(慶大理工) ○小野寺俊亮、石川聡也、河内卓彌、垣内史敏

\*\* 休憩(5分) \*\*

[座長: 今堀龍志(東京理大工)]

セッション⑨

- - 33. 10:35 ~ 10:50  
ボリルならびにシリル亜鉛種の in situ 発生活法の開発と  
有機合成への展開  
(東大院薬、理研) ○永島佑貴、内山真伸
- - 34. 10:50 ~ 11:05  
亜鉛 (II) トリフラートによるアルキン活性化を基盤とした  
含窒素スキャフォールド群の骨格多様化合成  
(東農工大院工、北大院理) ○頼元貞巖、恒川佳諒、市野智也、  
坪内彰、前田理、大栗博毅



- O-35. 11:05 ~ 11:20  
光レドックス触媒と HAT 触媒の協奏的触媒系による  
アルキルアミン類の選択的 C-H 変換反応の開発  
(静岡県大薬) ○藤田将司、井出貴文、小林史尚、江上寛通、  
濱島義隆
- O-36. 11:20 ~ 11:35  
ゼテキトキシシン AB の合成研究  
(東農工大院工、東北大農) ○安達菜菜、原田大資、石塚颯、  
山下まり、長澤和夫

\*\* 昼食&ポスター掲示(60分) \*\*

[座長：山口潤一郎(早大先進理工)]

セッション⑩

- O-37. 12:35 ~ 12:50  
シリカメソ多孔体へ担持したキラルニッケル錯体触媒を  
用いる不斉 1,4-付加反応の開発  
(東大院理、東大院理 GSC 社会連携講座、阪市大複合先端研)  
○金井敏、石谷暖郎、吉田朋子、小林修
- O-38. 12:50 ~ 13:05  
光学活性アジリジンに対する連続アルキル化反応を鍵とした  
カルノサジン類の効率的合成法の開発  
(東北大院薬) 大澤宏祐、○窪田隼也、土井隆行
- O-39. 13:05 ~ 13:20  
分子内協同活性化と分子間自己不活性化を切り替える  
刺激応答性酸塩基複合触媒の開発  
(東理大工、熊本大院自然科学) ○川口明裕、白岩周太、末永朱、  
栗原清二、今堀龍志
- O-40. 13:20 ~ 13:35  
第 4 族フッ素錯体とパラジウム触媒によるアルキンと  
ハロゲン化物の還元的クロスカップリング  
(東理大院理工) ○高橋慶多、森下裕充、荻原陽平、坂井教郎

\*\* 休憩(5分) \*\*

[座長：山口潤一郎(早大先進理工)]

☆ショートオーラル☆=Posterのみ  
12件×2分=13:40~14:04

- P-01.  
ホスファゼン触媒による [1,2]-Phospha-Brook 転位を  
利用した芳香族求核置換反応の開発  
(東北大院理) ○青木拓磨、近藤梓、寺田真浩
- P-02.  
分子内 Mannich 反応を利用した Neostenine の合成研究  
(東北大院薬) 飯村健太郎、佐藤敬直、○内海樹、古田未有、  
植田浩史、徳山英利
- P-03.  
2-プロパノールを水素源とした  
Pt/C-Fe 触媒的芳香核還元反応  
(岐阜薬大、CROSS) 澤間善成、○阪一穂、森美里、山田強、  
川尻貴大、安川直樹、朴貴煥、阿久津和宏、佐治木弘尚
- P-04.  
ビニルアレンを用いたニッケル触媒 [4+2] 環化付加反応の  
開発  
(千葉大院薬、千葉大 MCRC) ○稲垣早紀、荒井秀、西田篤司
- P-05.  
スキグラウトン A の全合成研究  
(慶大理工) ○大工原賢司、合志佑有子、小椋章弘、高尾賢一
- P-06.  
抗生物質ラクトナマイシンの合成研究  
(東工大理、京大院薬) ○村田知樹、佐藤翔吾、川田拓馬、  
瀧川紘、鈴木啓介

- P-07.  
ベンザインとフェノールの分子内環化付加反応を活用した  
新規架橋構造構築  
(東工大理) ○田中雅人、西井新、大森建、鈴木啓介
- P-08.  
カチオン性イリジウム触媒を用いた  $\beta$ -ケトエステルの  
脂肪族単純アルケンへのヒドロアルキル化反応  
(青山学院大理工) 松並明日香、尾木原溪、佐川潤、○武内亮
- P-09.  
芳香族カルボン酸誘導体の脱カルボニル型炭素-ヘテロ元  
素結合形成反応  
(早大院先進理工) ○一色遼大、石飛耕太、浅原光太郎、武藤慶、  
山口潤一郎
- P-10.  
芳香族エステルの触媒的脱カルボニル型炭素-炭素結合形  
成反応の開発  
(早大院先進理工) ○大北俊将、武藤慶、山口潤一郎
- P-11.  
電荷移動相互作用を活用した集積型サレン錯体の開発  
(東理大院工) ○角ヶ谷幸佑、岡崎大地、今堀龍志
- P-12.  
酸複合型 N-アリアルイミダゾール触媒による  
アシル基転移反応  
(東理大院工、熊本大院自然科学) ○鈴木滉樹、廣瀬敦司、  
清田祐基、入江亮、八巻亮太、高畑廣紀、今堀龍志

☆ポスターセッション

[於：3F 会議室=二会場に分かれて]14:15~15:35

☆2017 年度有機合成化学協会・企業冠賞受賞講演 (=3件) ☆

受賞講演 (1) [座長：林亮司(東レ)]

[富士フィルム・機能性材料化学賞] 15:45~16:15  
「大環状芳香族分子を活用した多能材料開発」  
(東大院理) 磯部寛之

受賞講演 (2) [座長：柳澤章(千葉大院理)]

[第一三共・創薬有機化学賞] 16:15~16:45  
「有機イオン対触媒の設計と機能創出」  
(名大トランスフォーメティブ生命分子研/院工) 大井貴史

受賞講演 (3) [座長：柳澤章(千葉大院理)]

[日産化学・有機合成新反応/手法賞] 16:45~17:15  
「イリジウムならびにロジウム触媒を駆使した効率的分子変換法  
の創出」  
(早大理工) 柴田高範

表彰式・閉会式 17:20 ~  
山口潤一郎(早大先進理工/実行委員会)

## 参加登録予約申込締切

10月5日（金）

## ミキサー

第1日目の発表終了後 同所3F会議室

開催：参加費（一般）3,000円 / （学生）2,000円

## 参加登録予約申込方法

下記①または②でお申し込み下さい。②の場合、事務手続き（登録受付、予稿集送付など）が遅れる可能性がありますので、なるべく①でお願いいたします。

- ① インターネットホームページ  
<https://www.ssocj.jp/>より
- ② 下記申込書に必要事項をご記入の上、郵便またはFaxにて  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5  
公益社団法人有機合成化学シンポジウム係  
Tel 03-3292-7621 Fax 03-3292-7622

また、①②とも、お申し込みと同時に参加費の送金をお願いします。送金方法は、郵便振替（00100-1-157690）または銀行振込 [みずほ銀行神田支店（普通）1620638、名義：公益社団法人有機合成化学協会] のいずれかをご利用下さい。

## 参加登録費（消費税含）：

	予約申込†	当日申込
一般（主催・共催会員）	10,000円	12,000円
主催シニア会員*1	6,000円	8,000円
一般（会員外）	15,000円	16,000円
学生*2 予稿集付→	5,000円	5,000円
予稿集なし→	2,000円	2,000円

ミキサー：（一般）3,000円 / （学生）2,000円

†予約申込の方には予稿集を事前に連絡先宛に発送します

\*1 66歳以上の有機合成化学協会・個人会員の方が対象。

\*2 会員、会員外を問いません。ただし研究生、研究員は学生会費の適用は受けられません。

発表者の学生会員は「予稿集付」参加費での登録となります。

※予稿集は余裕をもって準備しますが、残部がなくなり次第、受付終了となります。

※予稿集発送後にキャンセルを申し出られても理由の如何を問わず参加費返金ができませんのでご注意ください。

※予稿集のみご希望の方は、（残部が出た場合につき）シンポジウム終了後に4,000円で頒布いたします。

[注意] 「予約申込」締切の翌日からすべて「当日申込」の金額になりますのでご注意ください。

## 第114回有機合成シンポジウム参加申込書

(H30.11.6~7)

氏名			受付番号		
会員資格	<input type="checkbox"/> 有機合成化学協会 会員NO.		<input type="checkbox"/> 日本化学会	<input type="checkbox"/> 会員外	
※該当箇所には☑を入れて下さい	<input type="checkbox"/> 個人会員 <input type="checkbox"/> 法人会員 <input type="checkbox"/> 学生会員 <input type="checkbox"/> シニア会員		<input type="checkbox"/> 日本薬学会	<input type="checkbox"/> 会員外学生	
			<input type="checkbox"/> 日本農芸化学会		
勤務先名 または学校名			職名		
同所在地	〒				
連絡先	〒		FAX		
	e-mail:		※印をいれてください→自宅( ) 勤務先( )		
受講料	円	送金方法	銀行・郵便振替・その他	<input type="checkbox"/> 予稿集なし	
ミキサー いずれかに○印	(一般：3,000円 / 学生：2,000円) 参加 不参加		備考		
請求書・領収書の発行	請求書発行 希望( ) 不要( )		領収書発行 希望( ) 不要( )	※入金確認後の発行となります	

※10月5日迄に予約された方には予稿集を連絡先宛に郵送します。（おひとりにつき本申込書1枚を作成してください）

※学生の方は必ず所属研究室名までご記入下さい。（予稿集等、郵便物をお届けすることができないので）